



火の用心は地域でも 緊急消防援助隊

『国際救助隊サンダーバード』最近新シリーズがテレビで放映されていますが、拙者が消防職員となった若かりし頃から、フイクションながらこのサンダーバードの災害や事故に勇敢に立ち向かう姿に憧れていました。平成7年の阪神淡路大震災をきっかけとして『緊急消防援助隊』が誕生。いつ・どこで・どんな災害が発生しても全国の消防がすぐに駆け付け「人命救助」の旗の下、消防活動を行います。過去、東日本大震災をはじめ、土砂、火山、列車災害などに出勤しました。しかし大災害は常に起こっているわけでなく私たち消防は、普段は地域住民のために消防活動を行っています。

消防出初め式

消防人の士気・装備を披露するとともに、無災害を願います。

とき **1月10日(日)**
午前9時30分～

ところ ポートレース場駐車場
参加機関 消防団、女性防火クラブ、三谷温泉自主防災会、形原温泉自主防災会、西浦温泉自主防災会、消防本部
※アトラクション、消防車との記念撮影コーナーもあります。



総務課 ☎68♦0936

消防団

その消防活動で主たる役割を果たすのが消防団。普段は自分の仕事を持ちながら、地域で火災が発生すると、いち早く消防車で現場に向かい消火活動などを消防職員とともにしています。消防団は防災リーダーとしての役割も担っており、地域の防災力を高めるべく仕事の合間や休日を利用して訓練や防災指導、火災予防啓発活動などを行っています。地域の子どもたちが消防団の活躍する姿を見てかっこいいと感じ、将来の消防団員が増えることを期待しています。新しい年を迎えます。今年も皆さんの地域で「火の用心！」

去る足あとに申年を思う

子ども達の頃、「ヒトはサルから進化した」と聞いて、動物園の猿山の前で「もしかしたらヒトになる瞬間が見られるかも!？」とわくわくして待っていた…という友人がおりました。(身におぼえのあなたタ、ポケモン世代ですね!)
いつ、サルからヒトになったのか。現在では「直立二足歩行を始めたとき」とする考えが主流ですが、何百万年も前のご先祖様が遺したわずかな化石から、時期を特定するのは困難です。ただ、370万年前にすでに直立二足歩行するヒトがいたことは、動かぬ証拠、足あとの化石からわかっています。



猿人も木からおりる…

by たんぽぽ回



実話です

3人のアファール猿人のものと考えられている、27メートルにわたる足あとには手をついた痕はなく、2本の足で大地を踏みしめていたことが明らかです。石の窪みに、時を超えた力強さを感じます。
申年における私たちヒトの歩みが、明るい未来の礎となる足跡として残りますように…。

生命の海から

館長 山中敦子

生命の海科学館
☎66♦1717